

こども園経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度こども園経営の重点（短期経営目標）
<p>1 生活に必要な習慣・態度を身に付け、健康な心と体を育てる。</p> <p>2 自ら様々な環境に関わり意欲的に遊ぶ中で主体的に活動し、自己発揮できる環境を整える。</p> <p>3 身近な人や地域と関わり、思いやりの心や人権意識、規範意識の芽生えを育む。</p>	<p>○1園1小1中となる中で各校園の指導や校風を理解し、互いに学びあい、10年間を見通した園児の支援の仕方考えることができた。</p> <p>○登園時や活動中、気持ちが不安定になる園児の姿があったが、寄り添い関わったり、自己決定して行動できるよう援助したりすることで、落ち着いて生活することができる園児が増えてきた。</p> <p>○継続して年長児があいさつ運動をする中で、年下の園児がその姿を真似たりあこがれたりする様子が見られると同時に、園全体が活気づき、1日のスタートを切ることができた。</p> <p>○発達に応じた体の動きを年齢ごとに考え、年間を通して体操やマラソン・サーキットなどを取り組むことで、健康な体作りができた。</p> <p>△猛暑などにより散歩に出る機会がもちにくく、いろいろな地域の自然に触れる機会が少なかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が生活の仕方や健康に関心をもち、意欲的に生活や遊びに向かう中で基本的な生活習慣を身に付け、自立心を育む。 園児自らが周囲の環境に関わり、様々な実体験や感動体験を通して、豊かな感性を育てる。 いろいろな人との関わりを通して、自分の思いや考えを伝えたり人の話を聞いたりする等、コミュニケーション能力や言葉の力、思いやりの心を育む。 園児のあるがままの姿を受け止めながら自己肯定感を育み、相手の良さや多様性を認め合いながら他者と関わる力を育てる。 小学校との立地の良さを生かし、小学校との連携を密にし、様々な体験を積み重ねていく。また、園小の職員連携を密にし、より良い架け橋期の推進に努める。

評価項目	重点目標	具体的方策	成果と課題（自己評価）	学校関係者評価
保幼小中一貫教育の推進 (保幼小接続)	<ul style="list-style-type: none"> ・弥栄学園の教育目標を踏まえ学園の基本方針に基づき、取組を進める。 ・小学校との連携を密にし、スムーズな接続を図る ・「育ちと学びをつなぐ架け橋パスポート事業」推進指定園を受け、小学校との連携を密にし、研究を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・弥栄学園の重点課題と園児、児童、生徒の実態を把握し、登園渋りの解消などについて取り組む。 ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえ、幼児期から中学校まで一貫した指導を園内で共有する。 ・弥栄学園の諸会議や公開授業・保育などに参加し、全職員で「育ちと学びをつなぐ架け橋パスポート事業」の研究を行いながら実践を重ね、幼少期に育成する資質、能力を明確にししながら、小学校への滑らかな接続を図る 	<p>○1園1小1中の利点を活かし、さらなる連携を深めるため創意工夫をして取り組んだ。各校園の園児、児童、生徒との関わり方や、指導・授業の様子などを見て学び合うことで、園児の支援や関わりの方などを考えることができた。</p> <p>○「育ちと学びをつなぐ架け橋パスポート事業」の研究を進めることで、小学校との交流や連携を意識しながら園の教育・保育を振り返り、実践を進めることができた。</p> <p>△小学校との交流は深まったが、活動のみの交流となってしまう。協働して活動を計画し互いに振り返りながらさらなる連携を深めていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と様々な活動の交流が見られ、よりよい連携に繋がっている。 ・園小の立地を強みとし、今後も連携や園児・児童の関わりを深めてほしい。 ・「架け橋パスポート事業」の実践や弥栄学園としての交流が進んでいることは感じるが、もっと連携や交流等について発信をすることで、保護者や地域の理解が深まると感じる。

<p>教育課程</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭との信頼関係を基盤に安心、安定の中で園生活を楽しみながら主体性を育み、自分の力で行動する充実感を味わう。 ・基本的な生活習慣を身に付け、見通しをもって行動する園児を育てる。 ・互いを認め合いながら、自分の思いや考えを表現したり行動したりし、意欲的に活動を進める力を養う。 ・自分なりの言葉で表現したり、相手の話を聞こうとしたりする意欲や態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのつながりの中で自分らしさを発揮し、自信をもって意欲的に活動を進められるよう環境を整える。 ・体操、マラソン、サーキット遊びなど、発達に応じた活動を継続して取り入れ、健康な体づくりをする。 ・園内外の様々な体験を通して、感じたことや考えたことを自分なりの方法で表現し、考えたり工夫したりしながら生活や活動を進める。 ・互いを認め合いながら、園児が主体的に話し合ったり、協同的な活動を進めたりできるよう、職員間で連携し活動を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な場面で気持ちが不安定になったり気持ちが切り替えにくかったりする園児の姿があったが、思いを受け止めながら寄り添い、自己決定して行動できるよう援助をしてきたことで、主体的に行動する園児の姿が増えてきた。 ○発達に応じた体の動きを年齢ごとに考え、年間を通してサーキット遊びや運動を行うことができた。繰り返し活動することで、健康な体づくり体力づくりができた。また、様々な事に挑戦し、粘り強く取り組む姿も多く見られた。 ○「探究」をキーワードに、環境構成や関わり方など、常に考えながら関わり、園児の思いや考えを受け止めながら活動することで、思いを様々な方法で表現し、主体的に活動に取り組むことができた。 <p>△天候や気温、熊の出没などにより、散歩に出る機会がもちにくく、いろいろな地域の自然等に触れる機会が少なかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの思いを受け止めながら、寄り添い関わる姿がみられる。環境を工夫し、主体的に遊ぶ姿が多くみられる。 ・年間を通しての体力づくりは、健康な体づくりにおいて大切であると感じる。様々な事に挑戦する姿があり大変有意義な取組である。 ・行事のやり方を見直し工夫して、子どもの主体的な活動を大切にしている。 ・戸外での遊びなど、活発に活動している姿を感じるが、安全に気を付けて散歩にでるなどし、近隣の自然に触れたり地域と関わったりする機会もあってほしい。
<p>子育て支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の子育ての不安や悩みに寄り添い、喜びや楽しさを感じられるように支援をする。 ・未就園児の子育ての不安解消を図り、楽しく子育てができるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登降園時に園児の日々の様子を伝えたり、保育支援システムを活用し様子を配信したりして、保護者と共に子どもの成長を共有できるようにする。 ・園児や家庭の実態を把握し、保護者との連携を丁寧に行い、個々に合った支援や対応をする。 ・保護者の思いや不安な気持ちに寄り添いながら、相談がしやすい雰囲気をつくり丁寧に対応をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育支援システム「コドモン」を通して園児の活動などを配信した。特にドキュメンテーションなどを活用し日常の様子を伝えることで、教育・保育の大切さや園の保育目標など、活動を通して知らせることができ、保護者の理解へとつながった。 ○園児の様子や面談等から家庭事情や保護者の悩みを知ることができた。その都度園児や保護者を見取り、寄り添い丁寧に関わることに努めた。また状況を見て関係機関と連携を図り、保護者や園児の支援を行った。 ○地域子育て支援センターを通して、入園前の子どもの様子を知ることができた。保護者の入園に関する悩みや不安等の相談にのることで、園児が安心して入園できる支援につなげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンテーションで日々の活動の配信があり、園の様子や活動が分かりやすい。 ・職員の雰囲気もよく、相談しやすい環境であると感じる。 ・地域等から課題は聞いていないが、相談しやすく地域に開かれた園であってほしい。
<p>研修 (教員の 資質向上・ 人権教育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の充実を図り保育教諭の資質向上(人権を含む)に努める。 ・「育ちと学びをつなぐ架け橋パスポート事業」に向け、小学校と連携し研究・実践を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で保育の振り返りや意見交流など行う時間を持ち、指導力や関わり方(人権)など学び合い、保育教諭の資質向上に努める。 ・園小連携について小学校と一緒に話し合いの場を持ち、日々の保育を振り返りながら、研究・実践を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「育ちと学びをつなぐ架け橋パスポート事業」の研究を通し、園内研修として園児の見取りや、他機関のアドバイザーの指導助言をもらい、よりよい教育・保育に繋がる学びや実践をすることができた。また、小中の教員と研修する中で、互いを知り、日々の保育の振り返りや実践につなげることができた。 △全職員が架け橋事業に関わる研修に参加できるよう工夫したが、保育の都合により少人数しか参加できなかった。参加の仕方を工夫し全職員で学ぶ機会がもてるようにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動に、ねらいや目的をもち、教育・保育を進めている姿が見られる。 ・園全体に優しい雰囲気が感じられるが、ダメなことはしっかりと注意し、関わってほしい。他者を思いやる気持ちを大切にしながらやさしい心を育ててほしい。
<p>次年度に 向けた 改善の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人一人の思いを受け止めながら主体的に活動できるよう、教育・保育を振り返りながら職員の質の向上に努める。 ・園児の思いに寄り添いながら関わり安心安定して生活し、意欲的に遊びに向かう子どもを育成する。 ・「育ちと学びをつなぐ架け橋パスポート事業」の研究を通し、さらなる園小との連携を深め、実践を通し育ちと学びをつなぐ。 ・地域の方と連携を深めながら、地域の特色を教育・保育活動に活かし、園児の豊かな心と健康な体を育む。 			